

明治八年

開拓使九等出仕福士成豊外名編制露國
領東察加總事略開拓使ヨリ送致ノ件

三

外務省

6-0283

0486

要領記

(2)

日本書

寫濟

開拓使



魯國東蔡加紀事畧

6-0283

0488

魯國東察加紀事畧

東察加總説

東察加ハ亜細亞洲ノ北東ニ斗出シタル半島ニ
シテ北緯五十一度ヨリ六十三度ニ至ル東經百
五十五度ヨリ百六十五度ニ至リ東岸ハ北太平
洋ニ濱シテ北亜墨利加洲ニ對シ西岸ハ南西ヨ
リ北東ニ屈折シ「ヲコースク」海ニ瀕シテ擇太洲
ノ北部ヨリ羅無地加洲及「ヲコースク」洲ニ對シ
南ハ「リヨバツカ」岬ニ劃シ「キユリエル」魯語ニ義ナリ
海峡ヲ隔テ千島群島ニ連續シタル「レムシム」島
ニ對峙ス北ハ「テツヨーク」國ニ境ヲ接ス閩洲
廣袤里方大約五万三千八百八十民口總ニ五

開拓使

千人方々里内ニ算スル其内魯人一千四百人アリ
ト云フ

魯國政府始テ此地ヲ開墾セシハ其年記詳カナ
ラスト雖氏今ヲ去ル「」九百二三十年前ニアリ
ト云フ地形中央幅廣ク直徑百十里余南北狹細ニシ
テ直徑三百里余ナリ國內高山多ク北方大洲ニ
亘ル所ノ山脈半ハ幅狹クシテ北東ニ二脈ヲ縱
列シ直立三千尺ニ下ラス東方ニ連亘スルモノ
ハ「リヨバツカ」岬ヨリ下東察加ニ蟠延シ北東ニ列
スルモノ多クハ噴火山ニシテ其數十ニ減セス
其最高ナルハ「コーヲナケ」噴火山ニシテ直立一
万六千三百三十一尺ナリト云フ其他ノ高山多クハ
旧火山ニシテ數所ニ突聳ス其峻嶺峩々トシテ

濟

白雪常ニ數仞恰モ塗カ如リ頂上少シク黒色ヲ
視ルモノハ寒風積雪ヲ飛散シテ山麓ノ巖石ヲ
顯ハスモノナリ水平ヨリ三才ニ以上ハ多年ノ
積雪累々トシテ不絶故ニ草木繁生スルヲ能ハス
又晴天連山ヲ仰キ望メハ太陽ノ光線焔灼シ
シテ山腰ニ反映シ其美景ナルヲ皇國ノ如キ暖
帶中ニ在テハ未タ曾テ見サル所ニシテ實ニ幽
艶人ヲシテ爽快ナラシム又大小幾多ノ沼アリテ
天然此ニ魚類ヲ生スルモノ多クハ熊狐ノ食飼
ニ属ス此ヲ以テ見ルハ北隅酷寒當國ノ如キ
ハ魚類ヲ以テ主産トス故ニ北國ニ生活スル動
物ニ於テハ魚類モ亦欠クハカラサルノ貴品ナ
リ

開拓使

沿海ハ大曲シテ東方ニ開キ海岸総テ巖石ニシ
テ直立數丈海港ニ乏シ部落稍々ハヲ以テ數フ
其一ハ「フワチヤ」灣ノ「ベートロホー」スクリ港ノ
リ東察加川口又此ニ次ク其他ハ何レモ船泊ニ
難シ又兩大山脈ノ縁結スル處ハ北緯五十四度
ニ在テ則チ上東察加ト唱フル部落アリ半島中
著名ノ東察加川ノ源ヲ祭シ是ヨリ東北ニ向テ
廣澤ヲ開キ東海岸「バリー」ング海ニ注ク所川
口北緯五十六度東經百六十二度五十分ニ在リ
是ヨリ西ハ二十丁余ヲ隔テ下東察加ト名クル部
落アリ人口百余往古魯ノ政府此所ニ官吏ヲ遣
シ鎮臺ヲ設置セシカ川口東海ニ開キ風浪荒ノ
船泊安全ナラサルヲ以テ官吏引拂ヒシヨリ年

ヲ逐テ衰落ニ及一リ其廣澤水利ノ便ニ頼テ村
 落十セケ所ヲ繁殖セリ其著名ナルモノハ上下
 東察加「コラコーワ」メラーカワ「コムエー」ノ五村
 ナリ其餘ハ人民五七人住居スルモ猶一村ノ名
 アリ樹木繁茂ノ地ハ此ノ東察加廣澤ヲ以テ國
 中景良ノ處トナス則チ樺、水柳、白楊、赤楊、落葉松
 等多シト云フ魯國始テ開墾ヲ勤メシハ此地ニシ
 テ土產裸麥、大麥、蕎麥、馬鈴薯、白甘藍、蘿蔔、胡瓜
 通路ハ東海岸「ロートロポールス」有ニ始リ西海
 岸「ポリレヨイスケ」ニ至ル「アバーチヤンスケ」ヲ
 股ニシテ廣澤ニ降り下東察加ニ達ス「コロツエー」
 ヨリ西海岸「テダム」ニ出テ「ヤーローカ」ヨリ東海岸
 「ワカ」村及「カラデンスケ」村ヲ經テ「ボントリヨスキ」
 ニ達ス道路ハ總テ狹隘ナリト云フ又雪中ハ挽
 車ヲ數匹ノ狗ニ牽カレメテ往復及運輸ニ便ス
 ○西方ノ一山脈ハ半島ノ南端「リヨハツカ」岬ヨ
 リ北東ニ連続スル「九北緯六十二度ニシテ「ス
 タンノウタイ」ノ山脈ニ接ス西海岸ハ半島ノ中
 央ニテ南北殆ント直列シ北緯五十七度ヨリ北
 東ニ大曲シテ北緯六十二度「タロワ川」ニ停ル此
 沿海ニ繁殖スル處ノ部落其數二十四就中著名
 ノモノ三村アリ一ハ南端「リヨバツカ」岬ヲ距ル
 「丁」北方五十六里東西一、流降ル「ホロシヤエ」川
 「ロヨ」東方十二里川股ニ位置スル「ホロシヤス
 ケ」ト名クル村落アリ人口九百八十陸ニハ一條
 ノ細路アリ東ニ向テ「アバツエ」ニスケラ過キ「ビ

開拓使

トロボールスキレ及下東察加ニ達ス今ヲ去ル
コト百二十年前魯人始テ此処ニ来航セシキ川
口ノ暗砂ニ觸レシヤ其船難破ヒシト云フ其時
埋没セシ魯ノ銀貨年号一千七百二十八年鑄造
ノ記号アルモノヲ近年拾ヒ得シモノヲ一見セシ
ニ銀質純粹方今ノ比ニ非ス其二ハ半島ノ中部
ニ在テ「テゲルト」名ノ北緯五十七度四十五分ニ
位シ海岸ヲ隔ル「東」十里余其人煙前村ニ比
スレハ稍勝レリトス此地西國トノ貿易ハ獸皮ヲ
以テ主眼トス通路ハ西海岸通リニ隘路アリ山
嶺谿間ヲ経テ東察加川畔ニ位スル「コロツエ」ニ達
ス其三ハ「ケンケスケ」ト名クル村落ニシテ北緯
五十九度八分煙前ニ比スレハ遙ニ劣レリ通路ハ東
海岸「カラゲンスケ」ニ達シ西海岸ハ「ペンセン」ス
ケヲ経テ「エゼーガ」ニ至ル
魯國始テ此半島ノ西海岸及東察加廣澤ニ殖民
セシハ凡百二三十年前ニアリテ多クハ「イルコー
ス」洲及「ヤコー」ス州ノ人民ナリ今「ウヨリ」此
ノ半島ニ到ルニハ幾ント四ヶ月ノ長旅ヲ経テ
達スト云フ土地ニ適スル植物ハ馬鈴薯ヲ第一
トス其他裸麥、大麥、蕎麥、白豆、藍、胡瓜等アレヒ甚
稀少ナリ
牧畜ハ牛羊狗ヲ主トス人民多ク牛酪ヲ嗜ム故ニ
村落毎戸畜フ所三四頭ニ下ラス又數狗以テ馬ニ
代フ故ニ其數夥多每家畜フ所四五十頭ニ至ル人
民畜狗多キヲ以テ富有ノ徴トス馴狗ハ其價四五

開拓使

山中ニ殘積スルモノ猶五尺ニ下ラス野草ハ總テ
葉落ク地上殘雪ノ消滅スルヲ待テ春萌ヲ祭シ
其成長スルヲ我北海道ニ比スルハ三日ヲ以テ彼
ノ一日ニ匹敵ス樹木ハ樺、水柳、赤楊、落葉松等ニ他
ノ種類ナシ總テ山腹ヨリ以降ニ繁茂スルモノハ
樺ヲ以テ第一トス故ニ人民家屋ノ建築ヨリ日用
焚薪畧我等ニ至ルコト多クハ、樺木ヲ以テ其使用
ニ供ス

礦物ハ其有無未タ詳カナラセ氏只噴火山近傍
ニテハ多ク硫黄ヲ出スト云フ

野獸ハ熊、野羊、快鹿、木、鹿、赤狐、半黑狐、白狐、ウ、狼、貂

海獸ハ海豹、海狗、川獺、

魚類ハ鮭、鱒、鮠、大口魚、此ノ魚鮭ヲ以テ、
通常食料ニ充ツ

開拓使

海陸ノ島ハ常ニ半島ニ住スルモノ其種一二ニ過

キス鳥、鷹、鳥、メー、ゲ、バ、イ、英ノ俗名ハ鳥ニ種
ニシテ大ナルモノナリ及白尾ノ

大鷲等ナリ野鳥ハ春月港灣ノ氷解スル期ニ至リ

南方ノ諸島ヨリ来ルモノ五月中旬ヲ以テ盛ナリ

トス鳥ノ種類ハ我北海道ニ居ルモノト大異アル

トナシ

港灣

アワ、ニ、ヤ、レ、灣ハ東察加半島ノ東海岸ニシテ北緯

五十二度五十八分東經百五十八度三十九分ニ在

リ灣口正南ニ向キテ幅二十七ハ丁、ヨリヨバ、カ、レ、岬

ヲ距ル、ト東北七十里北國ニ接ナル良灣ナリ南北

九五里東西九三里灣内中央ニテ深十四間此灣内

良港三所アリ一ハ「タリエ」ニケ「ト」名クル西南隅

ノ良港ナリ東西貳里南北半里港内深十間一ハ南
 東ニ位スル「ラコー」エヤ「ト」名ッル良港ナリ東西九
 丁南北壹里港内中央ニテ深十四五間其他灣内ノ
 周圍ハ然テ船泊ニ可ナリ海底小砂石及砂ナリ一ハ
 「ビート」ロポール「スキ」ト称スル東察加半島中著名ハ
 主府ニシテ北緯五十三度五十八秒東經百五十八度
 四十三分三十秒ニ位シ北國無比ノ良港ナリ然レ
 氏九月下旬ヨリ港内薄氷ヲ結ヒ十月下旬ニ至テ
 港内盡ク堅氷ノ廣野ト變シ諸民積車ニ駕シテ未
 往ス春二月下旬ヨリ漸々氷解ニ至リ四月ヨリ九
 月迄ノ間北地航海ノ船舶ハ然テ此所ニ輻輳シ運
 貨ノ便此時ヲ以テ盛ナリトス且港内岸際コレテ
 通常六七間外千満六尺ニ直ニ水船ヲ海岸ニ繫ト終ニ
 開拓使

四五間ノ橋板ヲ架シテ陸上ニ達ス港口南方ニ開
 クト雖氏港内ノ中央東方ノ海岸ヨリ北西ノ方ハ
 長狹ナル砂ノ半島ヲ斗出シ船路ハ漸ク百間余ヲ
 開リ此カ為ニ港ロヨリ吹込ム風浪ヲ遮屏シ大
 ニ港内船泊ノ安寧ヲ保リ又東西ニ山脈アリ西ヲ
 相圖山ト名ケ細長キ小半島南北ニ直列シテ西風
 ヲ防キ且半島ノ時ハ破臺ニ兼備スト云フ

「カムサツカ」戦争大畧

魯曆一千八百五十四年八月十七日英佛ノ軍艦各
 六七艘カムサツカ半島ノ内「ベート」ルボールスク港
 ニ来船セリ此時當港ノ兵備最シク陸軍ハ「カサ」
 「レ」兵士六百六十人「カムサ」ダ「ロ」兵士四十人ノミ
 ハ「アル」コ「フ」号艦艘ノミ碇泊セリ同十九日ニ至リ

英佛艦不意ニ魯ノ砲臺及「アルコフ」号ニ向テ砲
 撃ス砲臺及「アルコフ」号ヨリモ應砲頻ニ防戦セ
 リ此時敵艦ノ兵士百人斗リ哨船ニ乗リテ陸ヲ
 襲フ當港ノ奉行「オザイカ」氏此ヲ見テ「カサー」
 兵及「カムサタロ」兵ヲ指揮シ防禦苦戦頗ル勤ム
 英佛軍不利ニシテ過半魯ノ軍ニ撃ル残兵辛ウ
 シテ水艦ニ逃ル「」ヲ得タリ此ヨリ數々砲撃
 アリ廿四日英佛艦戦ヒ敗レテ當港ヲ出帆セリ
 此戦中英佛ノ兵死スルモノ九ノ三百人魯兵
 死スルモノ百人ニ充タス翌年一千八百五十五
 年六月英佛軍大挙シテ復ヒ同港ニ襲ヒ来ル奉
 行「オザイカ」氏豫メ之ヲ覺リ兵ヲ卒ヒテ當港ヲ
 引揚ケ此時已ニ魯都ペートルブルクニ在リ英

開拓使

佛艦不得已砲臺及當所等ヲ毀テ悉ク市街ヲ焼
 盡シテ歸帆セリ此戦中ニ罹リ市街衰微シテ方
 今ノ有様ニ至リ戦争前ノ煙五百ニ過シモ目
 今總ニ百ニ充タバ「ペートルブルク」街外ニ英

佛戦死ノ墳墓アリ其ノ牌文左ニ譯ス

一千八百五十四年八月廿四日 港ノ攻撃ニ付テ

英人及ヒ佛人戦死ノ墓

此山は、北山、南山、東山、西山、の四山に、
 北山、南山、東山、西山、の四山に、
 北山、南山、東山、西山、の四山に、

「ベートルホルス」港

當地ノ近傍樹木ナシ山面ハ積雪數尺水平ニ降リテ
 青色少シノ頭ル前ニ述ル小半島ハ水平ヨリ高キ
 丁百五十尺ニ不過頂上ノ隘路モ亦雪充滿ス山腹ハ
 擇及抑ノ小木八九尺ナルモノ攪糞シ其間五葉松ノ
 小木繁茂シ殆ント我國ノ野拓植ノ如シ北海道南
 端龜田郡渡部横津岳ノ水平ヨリ直立三千五百
 尺余ノ高峻ナル絶頂ニ繁茂スル五葉松ニ類似ス
 是ヲ以テ推考スレハ此地ノ酷寒ナル丁言ヲ待タス地
 質ハ「ツラエ」^{洋名ト名クル}岩石ニテ南ヨ東ニ二十五
 度ニ傾キ其間白礫石ノ鉍ヲ重子山面黒土七八
 寸ニ不充

耕業

開拓使

府内住家ノ近傍ハ地味半黒黄ニシテ耕
 作ニ適スルモ高山切迫シテ平地少シ
 唯人ノ居住ノ周圍ニ方五六間ノ野
 菜畑ヲ作り總計三百坪ニ過キス大ナ
 ル畑ハ村落ト雖氏更ニ有ル丁ナレ植
 物ハ馬鈴薯蘿蔔白甘藍蒜胡ノ類ナリ
 就中馬鈴薯ヲ以テ能ク地味ニ適スト
 云フ是歲産スル所二百六十六石此
 價百斤ニ付三市^リ七十五錢此石高過
 半ハ他村ヨリ輸入スルモノナレ哉
 當地ニ比スレハ甚タ不相當ナリ耕
 作ハ六月下旬ヨリ九月ニ収山

「ベートルホルス」港
此港は、北の海に面し、山面ハ積雪敷尺水平、降りテ
出立、北の海に面し、山面ハ積雪敷尺水平、降りテ

丁百五十尺ニ、不過頂上ノ隘路モ亦雪充滿、山腹ハ
梓及柳ノ小木八九尺ナルモノ、茂穡シ其間五葉松ノ
小木繁茂シ殆ント我國ノ野松植ノ如シ北海道南
端亀田郡渡部横津岳ノ水平ヨリ直立三千五百
尺余ノ高峻ナル絶頂ニ繁茂スル五葉松ニ類似ス
是ヲ以テ推考スルハ此地ノ酷寒ナルヲ言フ待タヌ地
質ハ「ツラエ」洋名ト名クル岩石ニテ南々東ニ十五
度ニ傾キ其間白砒石ノ鉍ヲ重子山面黒土七八
寸ニ不克

耕業

開拓使

管内住家ノ近傍ハ地味半黒黄ニシテ耕
作ニ適スルモノ高山切迫シテ平地少シ
唯人ノ民居住ノ周圍ニ方五六間ノ野
菜畑ヲ作り總計三百坪ニ過キス大ナ
ル畑ハ村落ト雖氏更ニ有ル丁ナレ植
物ハ馬鈴薯蘿蔔白甘藍蒜胡ノ類ナリ
就中馬鈴薯ヲ以テ能ク地味ニ適スト
云フ是歳産スル所二百六十六石此
價百丁ニ付三市ル七十錢此石高過
半ハ他村ヨリ輸入スルモノナレ哉
當地ニ比スルハ甚タ不相當ナリ耕
作ハ六月下旬ヨリ九月ニ收ム

魚漁

宥内ノ人民、魚鮓ヲ以テ通常ノ糧食ニ充リ、其一畝ニ算スルモノ、概子一万五千四百石、狗ノ飼料ニ貯フルモノ、予二十石ナリト、漁時ハ、重ニ秋季ニ有リ、獲魚ハ、鮭、鱒、鮓、大目、魚等ナリ、鮭、漁ハ、六月中旬ヨリ九月ニ終ル頃日、此地、滯船中、港内ニ、鮭群集セシ、片、魯人、終、カ一、二ノ小舟ヲ、漕キ出シ、細ナル網ヲ張リ、獲ル所ノモノハ、盡ク、狗ノ食ニ充ツルモノニテ、余アレハ、之ヲ海中ニ投棄スルヲ見ル、此地ノ魯人多クハ、魚、漁ニ、熟セス

氣候

氣候ハ、灣中他ノ村落ニ比スレハ、寒氣稍緩ナリ、冬至、酷寒ノ節ハ、零下十二度^{フアイレンハイトニ降ルヲ極トス}極暑ハ、其詳カナルヲ知ラスト、雖、氏九七十六七度ナルヨレ

開拓

當港、滯在中五月中旬ヨリ、六月上旬迄、大氣溫度ヲ、實測スルニ、平均四十二度ヨリ、騰ラヌ、同時、函館、實測ノモノニ、比スレハ、其降ルヲ十一度ヨリ、十三度ノ差アリテ、殆ント緯度ノ差ニ等シ、暖ノ至、極五十二度ヨリ、騰ラス、寒ノ至、極ハ三十度ヨリ、降ラズ、海水溫度ハ、四十一二度ニシテ、幾ニト大氣ノ度ニ等シ、六月上、陰ト雖モ、東凡ニテ、雨降ル、片ハ、周日三十四度ヨリ、騰ラサルヲアリ、大氣ノ量ハ、函館ノ三月中旬ニ等シ、ク、昇降變化少シ、朝夕ハ、濕氣甚シク、東風起テ、東太平洋ヨリ、バリンク、海峡ノ氷解、蒸氣ヲ吹キ、送り、此半島ヨリ、千島群島ニ、抵抗スルヲ以テ、空間雲霧充塞シ、海陸咫尺ヲ、辨ヤス、此力為メニ、北海航行ノ船舶、此難ニ罹リ、損害ヲ蒙ルモノ、古来多クナリ

漸々風位西方ニ變スレハ山海始メテ瞭然タリ

戸數人口

府内人家ハ五十三軒倉庫三十四港内ノ東方ニ降
ル山麓ニ比レ位置ヲ占メテ平地少ク西方ハ海濱ニ對
ス人口内外人共總計三百二十七人内男百五十五人女百
七十二人其内東察加土人ハ男女合テ十六人外國寄留
人男女合テ二十人工職ハ大工瓦師靴師鍛冶職共合テ
十二人ナリ

住家ハ狹少ニシテ低ク落葉松或ハ樺木ノ圍柵ヲ以テ
疊ミ上ケ葺ヲ挿入シテ外氣ノ流通ノ妨キ屋根ハ圓柵ヲ
並ヘテ野草又ハ五墨利加製ノ割紐ヲ用ユ窓ハ硝子ヲ
穿テ出入口ノ戸縁ニハ獸ノ毛皮ヲ張ガケテ室内溫度ノ
逸失ヲ防ク敷板ハ鋸ヲ用ヒス斧ヲ以テ削リタル板ヲ敷

開拓使

キ室内殆ント三才一ハ煉化石ニテ疊ミタル巨大ノ
火爐ヲ具ヘ周日火ヲ燃シ片ハ三日間ノ溫度ヲ保
ツト云フ如斯小室ニ過量ノ溫氣ヲ充塞スルニ依
テ其室内ニ入ルルハ鬱屈不快ニシテ健康ヲ害ス
ル少クナラス然レモ此建築法ヲ改正シ我北海道酷
寒ノ地ニ施行セハ其人氏保護ニ功アルヲ亦少クナラ
サルベシ

奉行一名「ウヲルコフ」人隨員ノ官吏二名ニテ半島
全洲ヨリ東海ノ諸島「ビルリ」島嶼及「キユリエル」
群島ノ「オロツブ島」ニテヲ總轄ス

醫官兩名アレモ病院ノ設ケナシ土民咳嗽ヲ患フル
者多シ當時病者八九人ニ不過諸氏醫官ノ診察深
切ナラサルヲ訝フ猶近日病院建設ノ街説アリ

府内保護ノ為メ成卒二十人ヲ遣テ土著ト為シ總テ
奉行ノ指揮ヲ受ケ平常ハ官庫及燈臺等ノ成兵
ヲ勤ム彼等休務ノ時ト雖モ他一所ニ出テ遊獵ス
ルヲ禁ス帽子ニハ赤筋ヲ附テ平民ト別ツ月給ハ
麥粃四十斤米二十斤銀貨三錢ナリ出產ノ見男子
ナレハ二年ヨリ十八年マデ一ヶ月稜麥粃四十斤ヲ
給シ既ニ十九年ニ滿ツ其職ヲ奉スルニ至レハ一ヶ月ハ
十斤ヲ賜給スト云フ

牧畜ハ馬四頭牛七十八頭狗四百頭ニ下ラス府中鶏ヲ畜
ハズ故ニ鶏卵ヲ珍貴シ其價一顆八九錢ヨリ十錢ニ至
ル夏月ハ土民ヲアワナヤシ灣外ニアルトスタリエツエロト
云フ一二ノ小島ニ涉リテ海鳥ノ卵ヲ獲集メテ之ヲ
鶏卵ニ換フルト云フ

開拓使

府内住居ノ商人ハ内外ヲ不論之ヲ等級ヲ定メテ其稅
額ヲ課スルヲ我北海道従前ノ諸負人ノ如シ譬ハハ
一等ノ免許ヲ有スルモノハ何處ヨリ何處マデノ通商ヲ
許シ以下各差アリ唯其區別スル一所ノモノハ商一所ノ
多少ニ依ルノミ當今一等ノ免許ヲ請シモノ居留ノ
外國人ニシテフエルベヤ^人名^人「ロキビル」^人名^人「マルワニス」
^人名^人「三人」ナリ魯國土著商人ニテ二等ノ免許ヲ請シ
モノ二人同等移稼商人三人アリ

學校

學校一所アリ官費ヲ仰カス衆民共立ニシテ教師一
名「ウヲロノコフ」^人名^人ト云フ生徒二十二名内女子一名
學課ハ地理萬國歴史耶蘇歴史綴字學習字等
ナリ學費ハ一等商人ノ子弟入學スレハ一歳二十

五^リ弗^ル二等ノ子^コ第十二^{ジュウニ}弗^ル卒^{ソウ}民^{ミン}ノ子^コハ三^{サン}弗^ル僕^{ボク}婢^ヒノ子^コ
ハ六^{ロク}弗^ルノ納^{ノウ}メ^メレ^レム富^フ商^{ショウ}人^{ニン}ハ有^{アル}志^シノ輩^{ハイ}ヨリ献^{ケン}納^{ノウ}ス
ル其^{ソノ}額^{ガク}一^{イチ}撮^{サツ}ナラスト雖^{モトモト}氏^シ大^{ダイ}約^{ヤク}七^{シチ}十^{ジュウ}弗^ルヨリ百^{ヒャク}五^ゴ
十^{ジュウ}弗^ルヲ納^{ノウ}ムルモノアリト云^{イハレ}フ小^コ兒^エハ禮^{レイ}讓^{ヤウ}ヲ知^チル
ト雖^{モトモト}氏^シ其^{ソノ}品^{ヒン}行^{コウ}賣^{ヤウ}クラス

税則

第一^{ダイ}等^{トウ}商^{ショウ}人^{ニン}一^{イチ}年^{ネン}間^{カン}商^{ショウ}賣^{ヤウ}ノ免^{メン}税^{ゼイ}トシテ官^{カン}ニ納^{ノウ}ル者^{シャ}魯^ロ
銀^{ギン}三^{サン}百^{ヒャク}六^{ロク}十^{ジュウ}八^{ハチ}弗^ル一^{イチ}弗^ルハ皇^{コウ}國^{コク}金^{キン}五^ゴ十^{ジュウ}錢^{セン}商^{ショウ}舖^ポヲ開^{カキ}ク免^{メン}
税^{ゼイ}十^{ジュウ}弗^ル酒^{シュ}商^{ショウ}免^{メン}税^{ゼイ}七^{シチ}十^{ジュウ}弗^ル烟^{エン}草^{ソウ}ヲ商^{ショウ}フ免^{メン}税^{ゼイ}十^{ジュウ}弗^ル商^{ショウ}
事^ジニ關^{カン}シテ土^ド民^{ミン}ヲ傭^{ヨウ}ヒ入^{イル}ル、モノ一^{イチ}名^{メイ}ニ付^{ツキ}二^ニ十^{ジュウ}弗^ルト
云^{イハレ}フ是^{コト}ヲ總^{ソウ}計^{ケイ}シテ一^{イチ}等^{トウ}商^{ショウ}人^{ニン}一^{イチ}名^{メイ}一^{イチ}歳^{サイ}中^{チュウ}納^{ノウ}ル商^{ショウ}四^シ
百^{ヒャク}七^{シチ}十^{ジュウ}八^{ハチ}弗^ル五^ゴ十^{ジュウ}錢^{セン}ナリ

第二^{ダイ}等^{トウ}商^{ショウ}人^{ニン}一^{イチ}年^{ネン}間^{カン}商^{ショウ}賣^{ヤウ}ノ免^{メン}税^{ゼイ}五^ゴ十^{ジュウ}九^ク弗^ル二^ニ十^{ジュウ}錢^{セン}商^{ショウ}

開拓使

舖^ポヲ開^{カキ}ク免^{メン}税^{ゼイ}五^ゴ弗^ル酒^{シュ}商^{ショウ}免^{メン}税^{ゼイ}七^{シチ}十^{ジュウ}弗^ル烟^{エン}草^{ソウ}ヲ商^{ショウ}フ免^{メン}
税^{ゼイ}五^ゴ弗^ル商^{ショウ}事^ジニ關^{カン}シテ土^ド民^{ミン}ヲ傭^{ヨウ}ヒ入^{イル}ル、片^ハハ一^{イチ}名^{メイ}ニ付^{ツキ}
二^ニ十^{ジュウ}弗^ル是^{コト}ヲ總^{ソウ}計^{ケイ}シテ二^ニ等^{トウ}商^{ショウ}人^{ニン}一^{イチ}名^{メイ}一^{イチ}歳^{サイ}中^{チュウ}納^{ノウ}ル
高^{カウ}百^{ヒャク}五^ゴ十^{ジュウ}九^ク弗^ル二^ニ十^{ジュウ}錢^{セン}ナリ

烟^{エン}草^{ソウ}及^キ燒^{セウ}酒^{シュ}ニ類^{ルイ}スル物^{モノ}品^{ヒン}ハ人^{ニン}民^{ミン}健^{ケン}康^{コウ}ヲ害^{ガイ}シ贅^{ゼイ}物^{モノ}
タルヲ以^モテ重^{ジュウ}税^{ゼイ}ヲ課^カス別^{ベツ}テ燒^{セウ}酒^{シュ}ノ一^{イチ}種^{シュウ}「^シエ^ン」酒^{シュ}
一^{イチ}函^{コン}ヲ陸^{リク}揚^{ヤウ}スル片^ハハ八^{ハチ}弗^ルヲ納^{ノウ}メ烟^{エン}草^{ソウ}ハ其^{ソノ}函^{コン}ノ大^{ダイ}
小^{コウ}輕^{ケイ}重^{ジュウ}ヲ論^{ロン}セス每^{ヘイ}一^{イチ}箇^{カン}ニ付^{ツキ}三^{サン}錢^{セン}ヲ納^{ノウ}メシムル
モ亦^{モトモト}不^フ公^{コウ}平^{ヘイ}ナリ

港^{カウ}税^{ゼイ}ハ船^{セン}一^{イチ}艘^{ソウ}ニ付^{ツキ}五^ゴ弗^ルヲ納^{ノウ}ム但^タシ出^{シュツ}入^{ニュウ}港^{カウ}税^{ゼイ}ノ別^{ベツ}
ナシ其^{ソノ}他^タノ物^{モノ}品^{ヒン}輸^{シュ}出^{シュツ}入^{ニュウ}共^{キョウ}總^{ソウ}テ無^ム税^{ゼイ}ナリ

予頭税

魯^ロ人^{ニン}一^{イチ}名^{メイ}ニ付^{ツキ}一^{イチ}年^{ネン}二^ニ弗^ル四十^{ジュウ}錢^{セン}

全農漁夫一名二升	全 九十四錢
東察加主人一名一升	全 猪皮一枚
但し婦女子ハ無税ナリ	

輸入品

輸入品ノ重ナルモノハ米、麥粉、裸麥粉、塩、砂糖、支那茶、衣類、印華布、羊毛織、帽子、靴等ハ總テ居留外國一等商人ノ手ニ屬ス米ハ支那米多シ量目九百二十目ヲ一介トス次ニ載スルモノハ昨年ノ計算ニヨルモノナリ

一三十二万八千弗

内

無墨利加又魯國ヨリ一年中輸入品代價總計

開拓使

十三万二千五百弗
十二万五千三百弗

海内費用
代價總計
諸村、輸出品
代價總計

残

七万二千弗

是ハ倉庫貯藏豫備物品
代價總計

相場

米一升	價十五錢	麥粉一升	價十一錢五厘
裸麥粉一升	全六錢	茶一升	全一兩五十錢
砂糖一升	全四十錢	肉物一升	全一兩八分
火藥一升	全一兩ヨリ 全八十錢ヲテ	鉛散九一升	全三十錢ヨリ 全四十錢ヲテ
抹鉛一升	全二兩	叔茶一升	全一兩二十五錢
煙草一升	上全八十錢 中全六十錢 下全四十錢		

輸出品

輸出品ハ重ニ獣皮ニシテ貂皮ヲ眼目トス其獺
法ハ十一月ヨリ始メ翌年三月ニ終ル雪上ニ網
ヲ張り狗ニ逐馳セシメテ獲ルト云フ其余ハ皆
銃九ヲ用ユ

一八万八千九百九十三弗

獣皮代價總計

内

八万三千四百三弗

貂皮四千八百七十二枚

但シ一枚ニ付 十七弗十八錢

三千二百十四弗

狐皮一千百五十一枚

但シ一枚ニ付 二弗八十九錢余

三百十九弗

半黒狐 四十一枚

開拓使

但シ一枚ニ付 七弗八十七錢

百五十弗

黒狐皮 三枚

但シ一枚ニ付 五十弗

四十二弗

狼皮 十四枚

但シ一枚ニ付 三弗

一十六百三十五弗

川獺皮 二百四十九枚

但シ一枚ニ付 六弗五十六錢

八十弗

魯名「ラッガ」
英名「ギロト」 獣皮十枚

但シ一枚ニ付 八弗

百五十弗四十錢

白木鼠皮 三百七十六枚

但シ一枚ニ付 四十錢

黒龍江畔ニ在ル「ニコライスク」ハ昨年差立タル

金高五万四千弗ナリト云フ 全所ハノ郵便ハ一

年一回ニシテ則チ十一月差立ルキハ翌年三月ニ
至リ其報知ヲ得ルト云フ

開
初
便

6-0283

0505

灣内部落

「セケギラス」^{名村}ハ「ベートルホルス」^{名村}ト距ル
沿海北西ハ二十五六丁地勢山麓ニシテ西方ニ
面シ人家六戸外倉庫ヲ設ク人口婦女子共四十
人内土著兵十ニ過キス帽子ニ赤筋ヲ附クル
前ノ如シ官務ノ余暇アレハ漁獵ヲ勤ム然レバ
他ニ轉獵スルヲ禁ス耕作ハ景モ少ク每家牛
ヲ蓄ヘ人民文際ハ親睦ニシテ耶蘇教ノ宗信ス
ルヲ深ク我里俗ノ佛教ニ耽ルヨリモ甚シ人民
風俗ハ「ペートルホルス」ニ異ナルヲナシ
「アワチヤ」^{名村}「ビートルホルス」^{名村}ト距ル
沿海ニ里二十丁「アワチヤ」川畔東方ニ家庫ヲ
設ケ人家終ニ十軒人口婦女子トモ六十ニ過キ

開拓使

ス漁獵ヲ以テ其活業ヲ為スナハ八九ハ魯人ニ
シテ土人少シ人民ノ文際風俗ハ「ペートルホル
ルス」ニ異ナラス當地ノ西方廣大ノ低地ニシ
テ谷地多シ
「ゲブツカ」ト名クル古川岸ニ一戸アリ家族九人
「ペートルホルス」ト距ル丁西ハ沿海六里人
民文際風俗等他村ニ異ナルヲナシ此地南方大山脈
ヲ塞キ北方ニハ廣大ノ平地アリテ秣多シ雪中
ニハ熊山頂ニ徘徊シ家内ニ安居シテ獵ヲ為シ
得ル丁アリ野鳥ハ戶外ニ充滿シ啼聲四方ニ響
キ食糧ニ乏シキハ兒童ト雖モ之ヲ手獲スル
ニ至ルト云フ又蓄牛ニハ各首ニ鈴ヲ附テ室内
ニ在テモ其所在ノ遠近ヲ知ル我北海道ニ於テ

草木繁茂ノ土地ハ、採用シテ可ナリ
 「ニコライスク」^{名村}「ビートロポールスク」^{名村}距ル丁西
 方直径五里七丁「パラトニカ」川畔ニ位ス灣内一
 ノ大村ナリ人家二十五軒寺院一人口九二百人
 人情風俗他村ニ異ナラス漁獵ヲ以テ其活計ヲ
 立テ土地平原地味黄色ヲ帯ヒ「アロウエル」^{名村}能
 ンシテ耕作ニ適スルモ人民田稼培植ヲ勤メズ
 唯馬鈴薯ノ一二万斤ヲ得テ其食ニ充ツ此地ノ
 原名ヲ「ツエー」^{名村}ト唱メ東察他魯ノ旧村ニシテ魯
 國此地ヲ始メテ開拓セシヤ一千八百四十年ノ
 頃ニシテ魯帝「アラエギザン」^{名村}ルバイウツニニコ
 ライ在位ノ時ナルヲ以テ村名ヲ「ニコライスク」^{名村}
 ト改正セシト云フ

開拓使

「メケ」^{名村}でナレト唱フ沿ヨリ降流スル一筋ノ小川
 「パラトニカ」川ニ注ク新川口ニ人家二軒アリ人
 口十六人「ニコライスク」^{名村}距ル丁南方直径半里
 土地狭ク東方ニ山脈ヲ塞キテ大川ヲ前ニシ後
 方ハ廣キ高原ニシテ樹木繁茂シ山川ノ渾獵ヲ
 業トスル丁前村ノ如ク地勢景況最モ美ナリ此
 一家ノ婦ハ東察他魯ノ工人ナリ然レモ能ク魯
 ノ風俗ニ馴レ其兒子ハ身軀容貌魯人ニ異ナル
 丁ナレ

「パラトニカ」^{名村}コロッエト名クル村落アリ「ビートロ
 ポールスク」^{名村}距ル丁西方直径六里半海路直径
 四里ヲ涉リテ「タリヨ」^{名村}港ノ北隅ニ達シ此所ヨ
 リ南西ニ向テ谿間九十五六丁ニシテ沼アリ長

ヒハヘ
張カ

開拓使

全シ頃日該地巡回ノ時ハ日本人ノ始メテ来訪セシヨシニテ人民甚タ親睦ノ状態ヲ為シ日々尋訪招待ヲ請ル寸暇アラザリシ

此地貂獺ヲ以テ專業ト為シ十一月ニ始リ翌年三月ニ終ル次ニ熊狐兎野羊川獺野馬ナリ魚渙ハ鮭鱒鯉等ニシテ熊狩ハ初春雪中空腹ノ節ハ二日間ニ百二十頭ヲ狩ルト云フ説アリ
人民多ク狗牛ヲ蓄ヘ馬ハ一二ニ過キス鶏ハ蓄ハス蓄狗ノ為ニ其食ヲ貯藏スルニハ川畔ニ穴ヲ掘リテ其内ニ貯フ熊肉ハ圓找ヲ組合シテ其内ニ貯フ當今其臭気臭ヲ街キ戸外ニ出ワレハ實ニ人身健康ヲ害スルヲ恐ル

食時ハ一日五回ニシテ朝七時「サムワート」唱フ

黄銅罐ノ沸湯ニ支那ノ紅茶ヲ煎シ裸麥ノ麵麩
ニ洋製ノ白糖ヲ喫シ全九時前ニ等シキ食ヲ為
シ午後一時ハ中食ヲ始ム第一ニハ麵麩ノ中ニ
塩臭ヲ包ミ焼タルモノヲ出シ次ニ「ソーブ」ヲ出
シ其次ニ魚鳥ノ焼肉ヲ出シ終リニハ「カレット」唱
フル支那米ヲ牛酪ニテ煎シタルモノヲ喫シ喰
終レハ直ニ寢所ニ入リテ休憩シ午後三時ニハ
前同様ノ煎茶ヲ喫シ全六時中喰同様ノ食終テ
一同休憩安眠ス斯ノ如キ風俗ナルヲ以テ冬季
ノ短日ニハ周日飲食ヲ以テ時日ヲ消費シ営業
ノ余暇アルヲナシ故ニ人民未タ文明ニ進歩セ
ザル亦奇トスルニ足ラス

開拓便

十四度<sup>「フア」
寒暖計</sup>ニ至ルト云フ此度甚不適當也
氏傳聞ノ儘ヲ記ス極暑ハ其温度詳ナラスト雖
氏七八月ニ至テ放出ルト云フ
五月下旬此地帯在中實則温度ノ平均ハ四十度
ナリ内二日雨雪降ル氏周日三十六度ニ下ラス
晴天ノ日ハ午後二時五十度ヨリ騰ラズ
毎村戸長ノ如キ役員ヲ設クルモノハ村民ノ撰
挙ニ任スト云フ小事件ハ此ノ小吏ニテ裁決シ
大事ニ關スルモノハ「ビート」ロホールスシニ至
リテ奉行ノ判決ヲ待ツ